



仙台・宮城元気ニュース

令和5年度第2号(通算第81号)
令和5年6月30日発行-隔月発行-
【発行】宮城県仙台地方振興事務所

～仙台地域の明るく元気な情報を発信！～

地
振

女性活躍！仕事のやりがい発見プロジェクトチーム発足式を開催しました
【地方振興部】 2

農
振

なとり・ぐるっと親子講座田植え体験が開催されました
【農業振興部（亘理農業改良普及センター）】 2

農
振

大郷町に大型発芽野菜生産施設が竣工しました
【農業振興部（仙台農業改良普及センター）】 3

農
振

RTKをテーマとした「アグリテック活用推進セミナー」が開催されました
【農業振興部（仙台農業改良普及センター）】 3

林
振

たけのこマルシェが開催されました
【林業振興部】 4

農
整

仙台市立大沢小学校で田植え体験が行われました
【農業農村整備部】 4

仙台地域のこの時期おすすめの
観光スポット 資福寺（仙台市青葉区）



仙台地方振興事務所では、女子大学生で構成するプロジェクトチームを結成し、5月16日に発足式を開催しました。本プロジェクトチーム結成は、大学を卒業する女性が卒業後に県内で働き、住み続けたいとなるような事業を学生の視点から企画・提案してもらうことを目的としています。発足式にはチームメンバー4名が出席し、所長から委嘱状を交付しました。

委嘱された学生は「女子大学生という当事者に目を向けてくれたことに感謝している。色々な人を巻き込んだ提案をしていきたい。」「宮城県の人、社会に役立つ仕事が出来たらと考えているので、精一杯頑張りたい。」などと意気込んでいました。

プロジェクトチームでは、今後、企画会議を開催し、「大学生が憧れを感じるロールモデルの発見・座談会」、「大学生と企業の協働による課題解決」などの事業を企画・検討していきます。



委嘱状の交付の様子



プロジェクトチームの皆さんとの記念撮影

「なとり・ぐるっと親子講座田植え体験」が開催されました

▶ 農業振興部（巨理農業改良普及センター）

5月21日に名取市地域農産物等消費拡大推進協議会（事務局：名取市農林水産課）が主催する「なとり・ぐるっと親子講座田植え体験」が開催され、普及センターが運営支援を行いました。このイベントは、平成13年度から始まり、東日本大震災や、新型コロナウイルス感染拡大により3年間休止されましたが、今年で開催20年目となりました。「ぐるっと」とは、名取市内の農産物のもぎとり体験をしながら地域をぐるっと回り、生産者と交流することに由来しています。

当日は晴天となり、参加した12家族40人の親子は、泥んこになって汗を拭きながら田植えを体験しました。

また、田植機による田植実演見学では、あっという間に田植えが終了したことに、参加者からは「昔の人は、手植え作業で大変だったんだな」などの感想が寄せられました。

普及センターでは、引き続き、名取市地域農産物等消費拡大推進協議会の活動と、管内農産物の魅力発信を支援してまいります。



田植え体験の様子



田植機の実演見学の様子

「大郷町に大型発芽野菜生産施設が竣工しました」 ▶農業振興部（仙台農業改良普及センター）

株式会社村上農園（本社：広島市）は、6月16日（金）に大郷町において、新しい発芽野菜の大型生産施設「宮城大郷生産センター」（以下「生産センター」という。）の竣工式を開催しました。

生産センターは、村上農園にとって東北初の生産拠点であり、首都圏や東北の消費者に向けて、スプラウトや豆苗などの発芽野菜を生産する計画です。

竣工式には大郷町長をはじめとして約50名の関係者が出席し、生産センターの事業が、早期に軌道に乗るよう神事が執り行われました。

生産センターの建設中には、令和元年東日本台風と令和4年7月15日からの大雨により、2度にわたる浸水被害を受けるなど多くの困難に直面しましたが、ピンチをチャンスに変えるという村上農園の社風がいかされ、今回の竣工式に漕ぎつけられました。

社長の村上清貴氏は、「雇用を創出して大郷町の経済発展に貢献するとともに、この地で、第2、第3の生産施設を建設するため、社員一同頑張りたい。」と述べられ、本県の園芸産出額の拡大に大きく貢献することが期待されています。



竣工式テープカットの様子



豆苗、スプラウトシリーズ製品

RTKをテーマとした「アグリテック活用推進セミナー」が 開催されました▶農業振興部（仙台農業改良普及センター）

6月5日、大郷町のえだまめ生産ほ場において、RTK（Real-time Kinematic）システムの露地園芸への活用をテーマとしたセミナーが開催されました。当該ほ場では、有限会社薬師農産がえだまめを栽培しており、普及センターではえだまめの生産振興を目的としたプロジェクトを通して、排水対策などの栽培技術支援を行っています。

RTKシステムは、地上に設置した基地局から発信する補正信号を受信してGPS測位の精度を向上させる測位技術で、これにより農業機械の自動運転等で高精度（誤差数cm）の作業が可能となります。県では昨年度、このRTK基地局を県内7か所に整備し、活用を推進しているところです。

当日は、ヤンマーアグリジャパン株式会社の協力のもと、RTK装着トラクターによる耕起・播種・除草剤散布の作業が行われ、参加者は作業の速度や精度などを観察しました。このセミナーには、県内の農業者や関係機関などから約100名の参加があり、農業の高齢化や人手不足と、今後予想される担い手の経営の大規模化などを見据え、RTKに関心が高まっている様子をうかがうことができました。



セミナー開催の様子



RTK自動操舵による播種作業の様子

たけのこマルシェが開催されました ▶ 林業振興部

5月15日から17日にかけて、宮城県産たけのこのPRイベント「たけのこマルシェ」が県庁行政庁舎1階ロビーにて開催されました。

仙台管内からは、松島町の「たけのこ工房 吉左衛門」が出展し、朝採れの生たけのこや水煮たけのこ、たけのこおこわなどを販売しました。

イベントでは、生産者の皆さんを中心とした積極的な販売活動により、一部では完売が出るほどの好調な売れ行きでした。

原発事故により、一部出荷制限がかかるなど、県産たけのこを取り巻く厳しい状況が続いていますが、生産者の皆さんの努力により、安全なたけのこの流通が確保されています。そんな生産者皆さんの想いが詰まったたけのこは、春の山の幸として根強い人気を持っているほか、カリウムや食物繊維などを豊富に含む健康食としての一面もあります。皆さんもこの機会に宮城県産のたけのこを召し上がってみてはいかがでしょうか！



販売された「たけのこ」商品

仙台市立大沢小学校で田植え体験が行われました ▶ 農業農村整備部

5月16日に、仙台市立大沢小学校の学童農園田において、5学年児童50人が手作業での田植えを体験しました。

この体験会は児童たちが田植え体験を通じて、農業・農村の持つ多面的な機能を身近に学べるよう、仙台市大倉川土地改良区が21世紀土地改良区創造運動の「総合的な学習の地域活動」として毎年開催しており、今年度で18回目となりました。

裸足で田んぼに入った児童たちは慣れない泥に足を取られ、悪戦苦闘しながらも、地域の方々の指導の下、一本一本丁寧に苗を植え、一生懸命に集中して作業に取り組んでいました。

児童からは、「田んぼの中が冷たくて気持ち良い！」「想像していたよりも楽しかった」「もっと沢山植えたい」といった感想が寄せられ、農作業の楽しさを実感するとともに、農業の大変さも知ることができ、とても有意義な体験学習となりました。



田植えの説明を受ける児童の様子



田植えをする児童の様子